

末梢血好酸球増多を示す疾患に関するレジストリ研究

1. 研究の対象

2016 年 1 月～2035 年 12 月に秋田大学および共同研究機関において血液検査を実施され、好酸球数の多かった方（全年齢）

2. 研究目的・方法

血液の中の白血球は、好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単球の 5 種類に大きく分類されます。好酸球はアレルギー疾患で増加することが多いですが、様々な病気にも関連しています。この研究では、通常 500 個/ μ L 以下の好酸球がそれ以上に増加している方が、どのような特徴を有しているかについて、出現頻度、疾患との関連性や時間経過による変化などを観察し、好酸球を検査することの有用性についても検討します。好酸球増多はアレルギー以外にも様々な原因で起こりますが、治療介入が必要となることは稀です。そのため、好酸球増多があったとしても主治医から特に説明がなされない場合があります（もし自身の好酸球数を知りたい場合は主治医にお問い合わせください）。本研究ではこのような好酸球増多が実際にはどのような医学的意味をもつのかについても検討します。この研究では、実際の診療で得られたデータや試料のみを用いて行い、追加の検査や調査などは行いません。

研究実施期間：研究実施許可日～2036 年 12 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 8 月 18 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診断名、病歴、検査データ（白血球数、好酸球数など） 等

試料：既存の病理組織、診療残余血液（廃棄予定のもの）

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、共同研究機関内での受け渡しを行う予定です（そのほとんどは研究協力機関から秋田大学への提供です）。また、より詳細な解析のため業務委託先等へ提供する場合があります。（確定し次第、本文書は更新予定です。）

対照表は、各研究機関の研究責任者が保管・管理します。

得られた試料・情報を用いて得られた解析成果は、個人が特定できないような状態にしたうえで、オランダの Citryll B.V.社と共有する場合があります。Citryll B.V.社では好酸球の検査に関係した試薬を開発しており、本学と共同研究契約を締結しています。

オランダにおける個人情報保護に関する制度については個人情報保護委員会の WEB ページをご覧ください。

(URL : <https://www.ppc.go.jp/enforcement/infoprovision/EU/>)

また、提供先の研究機関においては、OECD プライバシーガイドラインを全て遵守してあなたのデータを取り扱うことを確認しています。

5. 研究組織

秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座 植木重治
秋田赤十字病院 感染対策室 萱場広之
大曲厚生医療センター 内科 渡部敦
男鹿みなと市民病院 外科 木村圭介
能代山本医師会病院 消化器外科・外科 安井慶紀
Citryll B.V.社 Eric Meldrum

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

秋田市広面蓮沼 44-2 (代) 018-834-1111 (内) 6209

秋田大学医学部医学系研究科 総合診療・検査診断学講座 植木重治

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰尚久